

しろくしま つうしん

第8号



© @ butabulo

今年「変化」の年

2023年も残りわずかとなり、しろくま通信も今年最後となります。

志賀高原・北志賀高原のスキー場が無事にオープンしました。この冬は暖冬との予報ですが、町のスキー場にとって素晴らしいシーズンになることを祈っています。ちまたではインフルエンザが流行っているようです。皆さんも年末年始は人と会う機会が多いと思いますので、手洗いうがいをおこなって、健康に2024年を迎えてください。この1年を振り返ると、3月初めに町長に就任した時から私自身の生活は一変し、この町について学ぶことも多く、嵐の中にあるような10か月でした。それまでは東京、北海道、山ノ内町など、さまざまなところを飛び回りながら仕事をしたり、フランスの会社と日々英語でオンラインミーティングをしていた生活スタイルでしたが、今は毎日役場に出勤し、町の現状と将

来のことだけを考える生活に変わりました。

元々の仕事、企画書を書いたり、イベントを1から作るような仕事をしていたので、私の考える町の改革内容や、やりたいうこと、やるべきことなどは、常にパソコンでわかりやすい資料を作り、職員や関係者に説明することを心がけています。課長クラスが集まる管理職会議でも、何度も企画書での改革案を提案させてもらい、その上で企画ごとに具現化する方法を一緒に考え、どう進めるかなどを職員の意見を聞きながら、すでにいくつかの改革に取り組み始めています。

2023年に具現化できた、大きなことの1つは観光局発足かと思えます。正式稼働は2024年春頃からですが、まずはスモールスタートで動き出し、湯田中駅前インフォメーションセンターを開設することができました。正式名称は「山ノ内まちづくり観光局」ですが、母体は「山ノ内町総合開発公

社」ですので、引き続き、道の駅の運営や野菜くだもの市会を通じて農家さんたちとの関係も作りながら、農業振興の活性化も進めたいと思っています。

友好提携都市のベイル町に代表団を組織して行ったことも、大きな収穫でした。今後は学校同士の交流なども進めながら、国際的な感覚を子ども達に培ってもらえるような活動に近づけていきたいです。

都会にあり、この町にないものが多い町ではありませんが、その反対に、都会になくて、この町にあるものもたくさんあります。私のビジョンとしては、山ノ内町を「孫たちが帰ってきたくなる」魅力のある町にするだけではなく、山ノ内町に家族で住みたい、ここで子どもを育てたい、と都会に住んでいる方々が移住したくなるような、自然に囲まれ、経済的にも活気があり、若い人たちが活躍できる町づくりをしていきたいと思

います。「国際的」というのもキーワードで、すでにスノーモーター人気で外国人観光客が増えています。町に住む外国籍の方も多くなっているのが現状です。日本人でも外国籍の方でも、誰もが住みやすい町を

作りつつ、世界に近い町にしたいと思っています。今、町は国際友好交流都市として中国・密雲区とアメリカ・ベイル町と提携しています。近い将来、海外の友好交流都市を増やすことで子ども達や町民の方々が、さまざまな国と直接つながれる機会を増やしていきたいと思っています。

2024年4月からは、役場もより町民に寄り添った、声の聞きやすい、そして分かりやすい窓口や手続きの簡素化などを目指し、組織改革を進めます。

小学校の統合や、町民向けの体育館、プール、楽ちんバスやデマンド交通の運用方法など、解決すべき問題が多々あります。経済合理性を考えながらも、皆さんの意見を聞きながら、1つ1つ解決策を考え、ともに町を良くしていく努力を続けていきます。環境保護や地域経済の振興など、皆さんのご意見やご協力があれば、より効果的な施策が打てると思っています。

最後に、年末年始は家族や大切な人と過ごす大切な時期です。お互いに支え合い、温かいひとときを過ごしてください。そしてどうぞよいお年をお迎えください。

包括連携協定を締結

当町は、国内有数のウインタースポーツ、豊富な農産物の産地など、豊かな自然による恩恵を享受し発展してきた。現在問題となっている地球温暖化は、当町にとって深刻な問題であり、未来の子どもたちに「美しい山ノ内町」を引き継ぐことを目的として、本年9月、ゼロカーボンシティ宣言を行いました。

一方、航空機メーカーのDNAを持つSUBARUは、「人を中心としたモノづくり」の中で安全を最優先に考え、「一つのいのちプロジェクト」を進めています。このプロジェクトは、「ひとのいのち」「自然のいのち」をテーマに掲げ、「笑顔のあふれる未来に向けて守り・繋いでいく」ために活動している方々を応援しています。

このたび、当町とSUBARUディーラーである新潟スバル自動車(株)およびスバル信州(株)は、お互いの考えと活動に共感し、包括連携協定を締結しました。(調印式の様子はカメラルポをご覧ください。)



町公式HP